

「社会を明るくするために

必要なこと」

小田原市立泉中学校

三年 堂後 美羽

社会を明るくするために犯罪や誹謗中傷をなくすことは大切なのだと思っています。

この夏、パリでオリンピック・パラリンピックがありました。私は陸上部に所属をしていることもあり陸上には大変興味があって見ていました。あとは弟が卓球部なので卓球も見ていました。陸上ではやり投げの方が金賞を取ったり、卓球では団体は銀賞を取ったり、皆さんが頑張っている姿は日本に活気をもたららし、明るいニュースとして報道されていきました。頑張ることは世の中が明るくなるのではないかと思いました。

ただ、そんな中で柔道の阿部選手やバレーボールの選手たちは思っていた結果や期待さ

れていた結果を出せなかったことから、SNS上で誹謗中傷を受けていたそうです。また、私の知人も同じようにSNSで誹謗中傷を受けていました。なぜ頑張ったオリピック選手が誹謗中傷を受けなければいけないのでしょうか。なぜ、私の知人は誹謗中傷を受けなければいけなかったのでしょうか。私は大変疑問を持ちました。ただ、誹謗中傷を投げかけている人たちは誹謗中傷をしているという概念がないとも知りました。寧ろ、「正義」の為にコメントを残しているという発想のようでした。だから、正しい思考と正しい行動だと言うのです。

何故、「正義」の為に起こした正しい行動は悪くない人を傷付けてしまうのでしょうか。それは「正義」の不安定さにあると思います。辞書で調べると「人間の社会行動の評価基準でその違反に対し厳格な制裁を伴う規範」とい言う言葉が出てきました。違反に対して制裁を行うものが正義であるならば、正義の名

の下で行動をすると違反に対しての制裁行動となるのです。結果、SNSへの正義の投稿行動は制裁行動になってしまふのです。そして、「正義」を唱えた制裁行動は止まることなく、暴走するかのように行動を続けるそうです。

「正義とは十人居たら、十の正義がある」とも言われていて、個々の人間にとっての主観でしかないのです。「当たり前」や「普通」と言う言葉にも思えるのですが、どの世界において「当たり前」誰にとって「当たり前」なのでしょうか。住む世界が違ったり、経験が違ったり、学んだ価値観が違ったりすれば自ずと「当たり前」も「普通」も「正義」も違ってくるのではないのでしょうか。だからこそ、今の世界に目を向けるとその不一致さからヨーロッパでも中東でも戦争や紛争が行われているのではないのでしょうか。日本で生まれ日本で教育を受けた私には今行われている戦争や紛争には全く「正義」は感じ

られません。戦争はあくまでも人間の尊厳を失い、生活を奪い、人生を狂わすものだと思いますからです。しかし、ニュースのインタビューなどを見るとロシアの人たちはロシアの戦争を支持するロシア人がロシアの為に戦うのだと言う発言が多いです。

「正義」とは素晴らしい言葉です。しかし、その言葉の危うさを意識して、自分が思い描いている「正義」のみを認めて行動することは辞めた方がいいと思いました。私たちの世代はSNSの発達によって容易に世界の誰にでもメッセージを送ることが出来ます。だからこそ慎重にすべきだと思います。送信ボタンを押す前に、一度送られた人のことを良く考える必要があると思います。

社会を明るくするためには自分の持っている「正義」を振りかざし、主義主張を他者に押し付けるのではなく、他者に対して尊敬の念と思いやりを持って相互に笑顔で声を掛け合うことが良いことだと思います。みんなが

そんな風に思いやりを持って生活していけば
社会は明るくなると思います。